

ヴィオラ・ダ・ガンバ バロックチェロ

# ペリクリ・ピーテ

ソプラノ

## 神谷美穂 マスタークラス

2022年

7月23日(土)~24日(日)

10:00~20:00

**【場所】**

アマ・レッシンルーム

愛知県あま市新居居江上田172 (個人宅、駐車場3台)  
名鉄津島線「七宝」駅より徒歩7分**【講義内容】**ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロックチェロ、声楽の個人レッスンとアンサンブル。  
アンサンブルはプロ、アマを問わずカルテット、クインテット、声楽を含んでの  
アンサンブル、ガンバコンソートも歓迎。

個人レッスン、アンサンブルレッスンのみでも参加可能。

※参加形態についてのご質問等はお問い合わせください。

**【課題】**

自由曲(複数曲)

**【参加費】**

- ・個人 12,000円 60分
- ・アンサンブル 1人7,000円 1組60分
- ・聴講料 1日2,000円

**●お申込み・お問い合わせ****【Email】** tokai\_baroque\_project\_hp@yahoo.co.jp**【Tel】** 080-5129-3608(中川) 080-3683-1987(杉浦)**【Fax】** 052-782-6919(中川)**【東海バロックプロジェクトホームページ】**<https://www.tokai-baroque-project.com/>**【講師プロフィール】****■Perikli PITE (violoncello barocco e viola da gamba)**

ペリクリ・ピーテ (バロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ)

ティラーナ高校の音楽科でチェロ、作曲を専攻、最高得点を得て修了。ティラーナ芸術アカデミーのコンクールで優勝。ベザロのロッシェニ音楽院でクラウディオ・カザデーのもと研鑽を積み、最高得点と賞状を得て修了。バルマのアルゴ・ボイト音楽院にてロベルト・ジーニのもとヴィオラ・ダ・ガンバを学び、最高得点、賞状を得て修了。数々のマスタークラスに参加し、研鑽を積み、1997年と1999年にベザロのロッシェニ財団、ヴェネツィアのジョルジョ・チーニ財団より奨学金を得る。ピアノ奏者、作曲家パオロ・マルツォッキと共にミカエル・コサコフスキー、ローランド・メイ、シルヴァーナ・ザンコロ監督の映画作品「Fortynine」に音楽担当として参加。ファビオ・ピオンディ率いるエウローパ・ガランテの一員として世界各地での演奏会、録音に参加。また、ルーカ・スカンダリ、アレックスandro・チッコリーニ、グロリア・バンディテリ、ヴァレンティーナ・コルテゼと共演。ベルフォルト音楽祭(フランス)、スタフォアスケン劇場(ブラハ)、ペルージャ大学(ウルビーノ)、ブドウヴァ音楽祭(モンテネグロ)バロックの魔法国際音楽祭、コンセルトゲボウ(アムステルダム)、グランドホール(リスボン)、バービカン・センター(ロンドン)等、多数の重要な国際音楽祭、重要な劇場、コンサートホールでの演奏に参加。CD録音は、クラヴィス、プリリアント、ボンジョヴァンニその他より多数。またルネサンススタイル、バロックスタイル、クラシックスタイルの3つの制作者としても定評がある。バロック、ルネサンス音楽を中心に活動を行うアウラータ・フォンテアンサンブルの創始者。マルキジャナ古楽音楽アカデミーでバロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバの教鞭をとる。プレシア音楽院バロックチェロ講師、チェゼーナ音楽院ヴィオラダガンバ講師、フェッラーラ音楽院ヴィオラダガンバ教授。

**■Miho KAMIYA (soprano)**

神谷美穂 (ソプラノ)

東京芸術大学声楽科卒業、同音楽研究科修士課程バロック声楽科修了。イタリア国立ボローニャ音楽院にてグロリア・バンディテリ氏のもとルネサンス、バロック音楽を学び、満場一致の最高得点、栄誉賞付で修了。二期会オペラストゥーディオ第44期マスタークラス終了。修了時に優秀賞受賞。'92年、第2回クラシック協会コンクール第2位。'01年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサート合格。'02年、二期会ニューウェーブオペラ劇場、鈴木雅明氏指揮「ボッペアの戴冠」のオッターヴィア役でオペラデビュー。そのほかにも サロンコンサート、オペレッタ、創作オペラ等に出演。現在イタリアにて、フェッラーラ・エステ家宮廷音楽研究の第一人者、エリオ・ドゥランテ、アンナ・マルテッロツィ両氏のもと結成されたルネサンス・アンサンブル「Concerto segreto」、バロック音楽を中心にコンサートを展開する「Armonia delle sfere」、19世紀の音楽を中心に音楽劇、コンサートに取り組む「Le Concordanze」、バロック・ハーブとのドゥオ「Produzioni Armoiche」の一員としてCD録音への参加、イタリア各地で幅広いコンサート活動をする。また、フェッラーラ劇場、フェッラーラ大学、音楽院G. Frescobaldiの企画するワークショップに歌手として、劇場における「声」についての指導者として参加。この企画は、野村文化財団より助成を受けた。録音CDには「ラウラ・ベベラーラへのマドリガーレ」(タクトゥス)、2019年には自身の研究から生まれた企画、アントニア・ベンボの曲集「プロドゥッジオーネ・アルモニケ」(タクトゥス)の世界初全曲録音がある。同レーベルのボノンチーニのカンタータ集「カンタータとソナタ、G・ボノンチーニ」は音楽雑誌「MUSICA」より5つ星を受賞。今後フレスコ・バルディの「アリア・ムジカーリー」巻、二巻全曲録音が出版予定。フェッラーラのカルドゥッチ高校で声楽を指導。ボローニャ音楽院講師。フェッラーラにてフェニーチェ・エステンセ文化協会会長としてルネサンス、バロック音楽の研究、演奏活動を推進。